

会 議 録 (概要)

会議の名称	第5回 佐渡市地方創生総合戦略策定・推進会議
開催日時	平成28年1月15日(金) 14時00分 開会 15時00分 閉会
場所	金井コミュニティセンター ホール
議題	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</p> <p>(2) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業について</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>(4) 地方創生加速化交付金について</p> <p>(5) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議の公開・非公開	非公開
出席者	別紙出席者名簿のとおり
会議資料	<p>資料No.1 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業一覧</p> <p>資料No.2 地方創生加速化交付金</p> <p>資料No.3 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)先駆的事业分(タイプI)で特徴的な取組事例</p> <p>資料No.4 地域の取組事例集</p> <p>(その他非公開資料あり)</p>

会議の概要（発言の要旨）

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果 等
橋口（佐渡マスターズ）	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</p> <p>(2) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業について</p> <p>議題（1）及び（2）について、資料No.1 に基づき一括説明</p> <p>(3)意見交換</p> <p>観光振興課の地方創生先行型上乘せ交付分（観光情報発信事業）だが、これはどの程度まで進んでいるのか。佐渡を活性化させようと個人やグループが Web、SNS 等通じて発信しているが、そういうところとの意見交換や情報収集をして実施しているのか。</p> <p>学校教育課のグローバル人材育成。佐渡高校が実施しているプログラムへの補助ということだが、他の高校生とか、そういう希望を持っている中学生とかを巻き込んだような事業ではなく、佐渡高校対象の事業という理解でよいか。</p> <p>地域振興課のU・I ターン者リフォーム支援事業だが、佐渡市の空き家情報システムを利用された方を対象としているが、佐渡市の空き家情報システムを利用しなくても個人売買等で、空き家に住むケースも多いと思うが、そういうところへの補助が漏れてくると思う。もうちょっと考慮があったらよいと思う。</p>
観光振興課長	<p>観光情報発信事業については、プロポーザル方式をとり、ホームページを作成している業者4社から申し込みがありました。そこで提案を受けた内容を、市、観光の関係者等々で審査をして、業者決定をしまして今見直し作業に入っているところです。</p>
橋口（佐渡マスターズ）	<p>これは年度内の立ち上げを予定しているのか。</p>
観光振興課長	<p>3月末で完成する予定です。</p>
橋口（佐渡マスターズ）	<p>その状況は、我々は知ることができるのか。</p> <p>佐渡市のホームページに記載されているのか。</p>

観光振興課長	<p>現在ホームページでは、進捗状況等は掲載しておりません。主な内容ですが、外国語については5ヶ国語で標記にすることで進んでおります。</p>
橋口（佐渡マスターズ）	<p>4社というのは、全て佐渡の業者か。</p>
観光振興課長	<p>全て佐渡に事業所があります。プロポーザルをかけるときに、佐渡の業者という制限をかけたわけではございません。</p>
学校教育課長	<p>グローバル人材育成事業についてですが、ヘイワード高校が佐渡高校の姉妹校であり、佐渡高校が中心となって実施しますが、市内の高校から募集をいたします。実施の時期は3月15日以降2週間程度で予定しています。</p>
地域振興課地域振興係長	<p>U・Iターン者リフォーム支援事業については、今のところ、対象を佐渡市空き家情報システムに登録された物件ということで考えております。</p>
大倉（佐渡漁業協同組合連絡協議会）	<p>生活支援の灯油の支給事業ですが、思ったほど手が上がらないというようなことですが、どういうことになっているか。</p>
社会福祉課長	<p>生活支援のための灯油券支給事業ですが、当初見込みが8月1日現在で5,600世帯を予定しておりました。申請については、11月10日で一度締め切っておりますが、約4,400世帯ということでした。未申請が、約1,200人世帯あります。この中には、灯油は使わないという世帯もいますし、申請の仕方がわからないという世帯もあると思います。そういったこともありまして、昨日から第二段の申請期間を設けました。職員が直接出向いて申請を助けるということもしたいと考えております。</p>
池田座長（新潟大学）	<p>書き方がわからないという人には、手厚く見守っていただけたらと思います。</p>
橋本（美）（両津の未来を考える会）	<p>中学校の職場体験とは、どのようなことをするのか。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>職場体験の日数について、「一日目は緊張の一日目。二日目で仕事を覚える。三日目で慣れる。四日目で考える。最後の五日目で、感動する。」という一連の流れがあって、職場体験をした経験が役立っていくということから、職場体験5日という設定をしました。</p> <p>昨年度は2.2日でしたが、今年度は2.4日になっています。</p> <p>今年度、南佐渡中学校をキャリア教育の指定校として、キャリア教育を強化しておりますけれども、課題解決型職場体験ということで、昨年10月1日に職場体験を実施し、佐渡の課題解決のプランの発表会を10月22日に行いました。市内10社の企業に訪問しまして、企業の特徴的な部分をそれぞれ子どもたちに考えてもらって、何か問題点はないか、どの様なことをすれば企業のプラスになるかというようなことを話し合いました。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>職場体験という話が出ましたが、市長がキャリア教育というものに力を入れております。市長から3つの言葉をいただいております。佐渡を愛し、①佐渡で成長し活躍する人、②佐渡に帰り心身ともに大きくなって活躍する人、③佐渡を離れてからも佐渡を応援する人。これは、高校卒業後、佐渡に残る人、大学、専門学校を経験して佐渡に帰ってくる人、大学、専門学校卒業後、島外で生活する人ということでございます。</p> <p>市長からは佐渡を想う人をつくってくれということで、市役所では、産業振興課は佐渡の企業を子ども達に教える、学校教育課は佐渡への愛着を基盤に社会的・職業的自立に向け、必要となる能力を育てるために中学校への支援及び高等学校との連携に向けた支援を行う。また、社会教育課では、地域の伝統芸能や文化、公民館活動から子ども達に佐渡を教える。社会福祉課では、保育園の小さい頃から佐渡を教えるということで、保育士や保護者の教育をしていくということで、キャリア教育に取り組んでいます。学校教育課がやっている部分と、他の3課がやっている部分と連携して、市長の3つの言葉を遂行するために市役所は動いております。</p>
<p>池田座長（新潟大学）</p>	<p>佐渡に対して自信を持って説明できる大人が何人いるのか。子どもに自信を持たせるには、大人が自信を持たなければ。そういう施策というのはされているのでしょうか。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>キャリア教育を通じて、佐渡を誇りに思える子ども達を作りたいというところが、一番大きなところだと思います。それを目指して動いております。</p>

池田座長（新潟大学）	<p>子どもにキャリア教育を身につけるには、まず大人がしっかりしなくてはならないと思う。大人に対して、教育というと管理された感じがするが、どのように考えているのか。</p>
総合政策監	<p>重要なご指摘であります。成人した島民が地域に誇りを持つということを、どのように進めていくのかということに苦慮しているところでもあります。市長も島民が誇りを持つためにはどうしたらよいかと非常に悩んでおりますけれども、地方創生の中でも地域づくりで、地域自主組織、旧 10 か市町村のそれぞれの支所・サービスセンターが中心となって地域づくりの自主的な組織を立ち上げていただいております。これは、職員がやるということではなくて、地域のそれぞれの団体が地域自主組織を立ち上げて、その中で例えば、休止となっている祭を復活してもらおうとか、運動会を復活してもらおうとか。元々地域の中にあつたものを見直してもらって、各地域に誇りを持ってもらうということを、地域づくりの中でやっていくというのが、我々の考え方です。大人の方を呼んでセミナーで、佐渡に愛着を持ってくださいといっても、中々難しいところもあるかと思っておりますので、地域自らが考えて、その地域の資源が何なのかということを見つめ直していただいて、何が必要なのかということをやっけていただいております。地域自主組織が立ち上がって、計画を作っけていただい何かやるということについては、市の制度で支援を進めているところがございます。地域づくりを通して、誇りをもっけていただくということから、進めているところがございます。</p>
池田座長（新潟大学）	<p>地域の力がないと地域創生も難しいと思っておりますので、ぜひ進めていただきたい。併せて、そういうことを側面から応援する市の組織もつくっていただけるとありがたい。</p>
総合政策監	<p>そこがまさに、旧 10 か市町村にある支所・サービスセンターの役割だと思っております。</p>
池田座長（新潟大学）	<p>そのあたりを含めて、よろしく申し上げます。</p>
橋本（舞）（佐渡子ども・子育て会議）	<p>地域おこし協力隊の定着はありがたいことだが、あくまでも担当地区での定着にならないと残念。 学童保育についてだが、へき地に学童保育がないから、学童保育のある地域へ引っ越しをと考えている家族がある。核家族が多い地</p>

<p>社会福祉課長</p>	<p>域を大切にすることも大事だが、小規模校、小規模保育園が本当に小さくならないように、大事にしていきたい。</p> <p>学童保育については、今回地方創生の関係で2施設を時間延長させていただいておりますが、この後事業の拡大をしていきます。小規模校における学童保育の実施については、現在検討しているところです。</p>
<p>丸山（第四銀行）</p>	<p>資料No.1の3ページには、起業等を行うものに対し、起業等に要する経費の一部に補助金を交付するとあるが、実績はあるのか。補助金を利用したい場合の条件や、公募等は行っているのか。そのあたりのルールと、金融機関としてもお勧めできるものなのか確認したい。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>基本的には、佐渡の資源を使うということを優先に考えています。そのため、製造業をメインとして考えており、その中で、雇用があるかないかというところで、金額に差をつけております。</p> <p>今年度については、起業としては3件起業しております。申込予定が4件あります。今後、創業支援ネットワーク等できれば、より強く応援できると考えております。</p>
<p>丸山（第四銀行）</p>	<p>予算額というのは、平成27年度から始まっているが、枠があって平成28年度以降も続いていくのか、それとも無くなり次第終了となるのか。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>今年度については、今申し込みのところで概ね終了と考えております。平成28年度以降については、NICOの方で同じような起業チャレンジ事業がございます。佐渡市では、創業支援ネットワークという、国県の事業を活用するように応援していくという仕組みを構築します。事業としては、NICOの事業を活用していただきたいと思っております。</p> <p>創業支援ネットワークとして、応援させていただきます。</p>
<p>丸山（第四銀行）</p>	<p>市からは、ないということか。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>市から新規創業分については、ございません。</p>
<p>池田座長（新潟大学）</p>	<p>そういったところ、どういう手続きをしたらよいか見えやすくし</p>

<p>総合政策監</p>	<p>ていただいた方が、起業に関心を持つ方が増えるかもしれません。</p> <p>少し補足しますと、今日資料で説明したものはすべて国の交付金事業を活用しております、今年度中に事業完了させないといけないものばかりでございます。来年度以降の分については、この後ご説明しますが、今ご説明したもののの中で良い所と悪い所がわかってきました。政策の制度設計という意味で直さなくてはいけないところもわかってきましたので、それを踏まえて地方創生の加速化交付金、新型交付金を使ってやっていきたいと思っております。起業チャレンジという名前から形は変わります。国県の予算も入れながら、形は変わりますが起業・第二創業についての、支援体制はこれまでよりも強化していく予定でございます。</p>
<p>佐々木（佐渡森林組合）</p>	<p>KPI の到達状況について、学校給食での佐渡産野菜使用率が低い何が問題となっているのか。生産量が足りないのか、価格が合わないのか。なるべく佐渡の野菜を使った方がよい。</p>
<p>産業振興課長</p>	<p>國中平野を見ていただくとおり、畑がありません。販売農家も少ない。我々も地場のものを使いたい、使えないというのが現状であります。</p> <p>学校給食での佐渡産野菜の使用率が16.6%と低い原因は、一学期の数値を計上しているためです。二学期以降増えてきます。</p> <p>現在、冬野菜を学校給食用に供給しているところです。昨年並の数値には持っていきたいと考えているところです。私たちが地産地消を始めた平成20年度は15%程度でした。それが、今25%程度まで上がってきたという現状でございます。</p>
<p>佐々木（佐渡森林組合）</p>	<p>説明の中で、畑が少ないということだが、おそらく生産者が少ないということだと思うが、すぐに利用できそうな荒れた畑は結構あるような気がする。島外から来た人に、畑をつくってもらおうとか。そういうことで、地域が盛り上がっていく。</p>
<p>農林水産課長補佐</p>	<p>佐渡の農家の大多数が米農家であります。そのほとんどが、兼業農家ということで、畑作物の日々管理が必要なものは敬遠されがちになります。</p> <p>今、佐渡の農業におきまして、U・Iターン等で佐渡で農業をやりたいという新規就農者を応援する地域の里親がいます。地域で人を育てていきたいという地域も出てきているというような中では、荒</p>

	<p>廃して行く農地のいくらかをおさえられるのではないか、それから地域に入ってくる方については、稲作一辺倒では中々収入に繋がらないので複合農業の形態を紹介させていただいております。その中で、農地から農地として上手に使われていく仕組み、それから地域においても、地域の方々が知恵を持っておりますので新規就農者を一緒に育てていただければと思っております。</p>
<p>前田 (佐渡農業協同組合)</p>	<p>色彩選別機については、本年度の市の補助だけで約 60 台。我々 JA の方で 1 年早く取組を進めておりまして、ここに出ていない数字を合わせると 100 台近くになる。カントリーエレベーターを含めると主要米の中で色彩選別機を通しての割合が 3 割近くになるのではないか。全国の産地の中でも、3 割も色彩選別機に通すところはない。営業に歩くと、食味の評価は従来から高かったが、品質も評価を得ている。平成 27 年産の佐渡米の契約率は 70% 台である。これは、5,000t も余計に注文が来ているため、減らしていただきたいという交渉をしているから主契約になっていないということである。</p>
<p>児玉 (佐渡市連合婦人会)</p>	<p>観光の冬紀行について、予約状況はどうなっているか。宿泊者にアンケートは行うのか。</p>
<p>観光振興課長</p>	<p>冬紀行の実績ですが、個人ツアーと団体と二通りございます。個人の方は 942 人を目標にしておりまして、これは 12 月で販売が終了しております。団体の方が 1,400 人パックございますが、現時点で半分以上の予約が入っているという状況でございます。</p> <p>アンケートも行っており、3 月中に集約ができることになっております。</p>
<p>池田座長 (新潟大学)</p>	<p>情報発信というのがありましたが、外国語の更新というのは中々うまくいかないが、外国語の更新も同時にするようにお願いしたい。</p>
<p>前田 (佐渡農業協同組合)</p>	<p>先ほどは米の話でありましたけれども、園芸については、地産地消含めて拡大をしていきたい。3 本柱でいきたいと思っております、水稲・園芸、果樹含めて振興していきたい。もう 1 本は、畜産振興ということ。観光振興との連携もあって、佐渡牛の提供、酪農の乳製品も提供していかなくてはならないと思っております。そのために、まず和牛の振興をしていかなくてはならない。大型の繁殖牛舎を予定している。平成 28 年度事業でいきたいと思っております。KPI も、その数字が反映されている。牛舎自体にコストをかける必要はない</p>

<p>池田座長（新潟大学）</p>	<p>と思っている。佐渡産材を使った施設を検討している。循環型地域を支える林業の振興ということであり、連携していきたい。</p>
<p>総合政策監</p>	<p>佐渡牛はどこに行ったら食べられるのかということを知る。そういうことも含めて、観光分野で発信してほしい。</p> <p>国がDMO-観光地域づくりを進めている。それぞれの地域のいいものを観光商品と結びつけていく関係者をネットワーク化していく取組に対しては支援していくという流れになっております。佐渡市においても、佐渡版のDMOを設立する必要があると思っております。総合戦略にはDMOの設立の検討という文言が入っておりますが、DMOの立ち上げに向けて来年度はやっていきたいと思っております。</p>
<p>池田座長（新潟大学）</p>	<p>期待しております。</p> <p>計画に基づいた事業の推進をお願いします。進捗が遅れているものもあるようです。しっかりとした対応策を検討し、取り組みをお願いします。</p> <p>(4) 地方創生加速化交付金について 資料NO.2～資料NO.4に基づき、事務局より一括説明</p>
<p>総合政策課長</p>	<p>(5) その他</p> <p>次回の会議日程について説明いたします。本年度につきましては本日を最終としたいと考えております。</p> <p>総合戦略記載の取組のKPIについて、12月末のものを先ほどご説明いたしました。本年度のKPIの数値を固めまして、おおむね5月頃に次回会議を開催したいと考えております。</p> <p>3 閉会</p>